

記 入 の し か た

(家計上の次の事項を記入します。)

勤労者世帯及び無職世帯のかたは

————→ 「収入」・「支出」・

「前期からの繰越金」・「本日の現金残高」

勤労者世帯及び無職世帯以外の世帯のかたは

————→ 「支出」のみ

なお、家計簿とは別に、記入開始1か月目の後半に「年間収入調査票」を、3か月目の前半に「貯蓄等調査票」を記入していただきます。

★世帯全員の収入・支出をご記入ください。

★1日1ページで書ききれないときは、次のページを使って記入してください。また、収入・支出などが全くなかった日についても、そのページに「支出なし」と記入します。(いずれも、日付及び曜日も記入します。)

〈日々の収入・支出の記入のしかた〉

現金収入があった場合は

……………「Ⅰ 現金収入又は現金支出」欄に記入します。

【記入例1】を参考にしてください。

- 誰のどのような種類の収入かがわかるように記入します。
- 世帯主以外の収入もすべて記入します。
- 給料、年金、恩給などの口座自動振込は、現金でもらってすぐ預貯金したと考えます。
- 預貯金を引き出したときは、現金収入として「〇〇預(貯)金引き出し」と記入します。

現金で代金や料金を支払った場合は

……………「Ⅰ 現金収入又は現金支出」欄に記入します。

【記入例2】を参考にしてください。

- 何を、誰が、何に使うか、また、品物の名前を具体的に記入します。ただし、家族が皆で消費する食料品、日用品は、品名(何を)だけ記入すれば結構です。

銀行などの口座自動振替を利用して支払った場合は

……………「口座自動振替による支払」欄に記入します。

【記入例3】を参考にしてください。

- 1ページの「口座自動振替による支払」欄にまとめて記入します。

品物をクレジットカード、掛買い、あるいは月賦で購入した場合は

……………「Ⅱ クレジットカード、掛買い、月賦による購入又は現物」欄に記入します。

【記入例2】を参考にしてください。

- クレジットカードを利用して品物を入手したときには、「クレジット名」と「支払回数」を記入します。
- 掛買いは「一括払い購入」、月賦購入は「分割払い購入」とし、「支払回数」を記入します。
- 代金を支払ったとき

現金で支払えば	……………	代金を支払った日の「Ⅰ 現金収入又は現金支出」欄に記入します。
口座自動振替で支払えば	……………	1ページの「口座自動振替による支払」欄に記入します。

「もらい物」をしたり、「自家産」や「自分の店の商品」を家計にまわして使った場合は

……………「Ⅱ クレジットカード、掛買い、月賦による購入又は現物」欄に記入します。

【記入例2】を参考にしてください。

- 品物を入手したときに、何を、どこからかがわかるように記入し、金額は市価で見積もって記入します。

電子マネー(カード型、携帯電話型など)、商品券、小切手などの扱いは

…………… 【記入例2-2】を参考にしてください。

記入例 1

収入の記入のしかた

※青字による例示については、実際のご記入では色を変える必要はありません。

◎ 現金で受け取った場合の例
(勤労者世帯)

(1) 収入の種類又は支出の品名及び用途	(2) 現金収入 (円)	(3) 数量	単位	(4) 現金支出 (円)
1 世帯主 10月分 本給	293,200			
2 扶養手当	6,500			
3 通勤手当	15,300			
4 所得税				6,880
5 住民税				24,300
6 健康保険料				12,390
7 公的介護保険料				1,785
8 厚生年金保険料				23,025
9 雇用保険料				1,260

*給料は、税引き前の額を「現金収入」欄に、また、給与から差し引かれた額を「現金支出」欄に、それぞれ種類別に記入します。

*家族の給料についても、同じように記入します。

← *厚生年金基金などは、分けて記入します。

(現金収入の合計315,000円と現金支出の合計69,640円の差が、現金手取分245,360円になります。)

(無職世帯)

1 老齢年金(厚生年金)	255,300			
2 公的介護保険料				3,800
3 家賃収入 11月分	100,000			

← *年金はどのような種類のものか詳しく記入します。

◎ 口座自動振込した場合の例
(勤労者世帯)

(1) 収入の種類又は支出の品名及び用途	(2) 現金収入 (円)	(3) 数量	単位	(4) 現金支出 (円)
1 世帯主 10月分 本給	293,200			
2 扶養手当	6,500			
3 通勤手当	15,300			
4 所得税				6,880
5 住民税				24,300
6 健康保険料				12,390
7 公的介護保険料				1,785
8 厚生年金保険料				23,025
9 雇用保険料				1,260
10 給料 口座自動振込				245,360

*給料の明細を、「現金で受け取った場合の例」と同じように記入します。

← *口座自動振込額は、現金でもらってすぐ預貯金したと考えるので「現金支出」欄に記入します。

※ 給料の一部を現金で受け取り、残りを口座自動振込した場合
給料差引支給額245,360円のうち100,000円を現金で受け取ったときは、給料口座自動振込分に145,360円と記入します。

(無職世帯)

1 世帯主 老齢年金(厚生年金)	255,300			
2 公的介護保険料				3,800
3 口座自動振込				251,500

*口座自動振込は、手持ち現金に動きがなく、記入もれになりやすいので注意してください。

記入例 2

支出の記入のしかた

数量・単位の記入

*購入した品目の数量は、1山、1袋、1尾、1本などと記入せず400グラム、1800ミリリットル（又は、400g、1800ml）などのように量目で記入します。

各期の第1日目（1日又は16日）に、前日から繰り越した手持ち金額を記入します。

品名などの書き方

*「うどん・そば」は、ゆでたものか干したものかなどを区別して記入します。

*「魚」「肉」「野菜」「パン」などではなく、品名を具体的に記入します。

*誰が使うものかを記入します。

*何に使うためかを記入します。

*月ぎめの牛乳、新聞などは、代金を支払った日に「現金支出」欄に記入します。
(日々の掛買いととはしません。)

I 現金収入又は現金支出

(1) 収入の種類又は支出の品名及び用途	(2) 現金収入 (円)	(3) 数量 単位	(4) 現金支出 (円)
1 揚げうどん		400 個	320
2 あじ(生)		430 個	330
3 かき(貝)		460 個	400
4 豚肉		330 個	630
5 ほうれん草		300 個	186
6 バターロール(8コ入り)		280 個	200
7 靴下(世帯主)		2 足	1,050
8 ホロシャツ(長女)		1 枚	2,625
9 リンゴ(病氣見舞い)		1,950 個	1,800
10 出し出前(来客用)		4 人前	4,800
11 エアコン月賦支払初回分			26,000
12 酒屋掛買ひ支払10回分			4,500
13 牛乳代10回分(200ml304)		6,000 ml	2,835
14 ○○新聞 10回分			3,925
15			
合計			49,601
前期からの繰越金(手持ち現金)			23,060 円
本日の現金残高			33,459 円

クレジット、掛買ひ、月賦購入

*品物を入手したとき、その都度品名、数量を記入します。

*家電製品、家具、自動車などを月賦(分割払い)で購入したときは「価格総額」を、また「支払回数」も記入します。

*一括(1回)払いの場合は、「1一括払い購入」を○で囲みます。

*クレジットカードで購入した場合は、「クレジット名」と「支払回数」を記入します。他人にあげた場合は、その旨明記します。

*パック旅行については、国内か海外かを分けて記入します。

II クレジットカード、掛買ひ、月賦による

購入又は現物(もらい物(現物給与を含む。)、自家産、自分の店の商品)

- * 掛買ひで購入したときは、「1」一括払い購入、月賦で購入したときは、「2」分割払い購入を○で囲みます。
- * 現物とは、よそからもらい物をしたり、勤め先から定期券等を支給されたりした場合、また、自家産のものを家計に取り入れられたり、自分の店の商品を家計にまわしたりした場合はいいです。
- * それらの品物を入手した際に必ず記入します。

(1) 品名及び購入方法 <small>右の該当するものを○で囲んでください</small>	購入方法					(2) 数量 単位	(3) 金額 <small>(もらい物(現物給与を含む)自家産、自分の店の商品は見積り額) (円)</small>
	1 一括払い購入	2 分割払い購入	3 もらい物	4 自家産	5 自分の店の商品		
1 エアコン月賦購入6回払		②				1 台	126,000
2 背広(世帯主)○○カード1回払	①					1 着	42,000
3 清酒		①				1,800 ml	1,800
4 婦人靴(知人)○○クレジット1回払	①					1 足	10,290
5 海外パック旅行(長男)		①				1 人	159,800
6 しょう油		①				1,800 ml	570
7 みぎ		①				1,000 個	500

備考 { ここには、この日の記入内容で特に説明を要することや参考になることがあれば記入してください。例えば、世帯にいない人の収入や支出があった場合は、その事情を簡単に記入してください。 }

「自動車購入費」「パック旅行費」「住宅設備工事費」「婚礼費」「法事・葬儀費」「入院費」のような高額の出費は、家計簿への記入が忘れがちになります。これらへの出費があった場合も、忘れずに家計簿へ記入してください。